

第222回

柏崎しんきん地区内経済指標

(平成26年9月)

 柏崎しんきん

(平成8年4月 創刊)

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,509	-0.93	0.16	4,169	1.11	0.40
東部地区	14,215	-0.14	-0.01	5,732	0.75	-0.08
西部地区	10,381	-0.24	0.07	4,031	1.05	0.09
駅南地区	6,332	-0.58	-0.14	2,791	0.90	-0.10
半田地区	3,694	0.27	0.08	1,396	0.21	-0.07
横山地区	5,522	-1.14	-0.19	1,959	1.08	0.15
茨目・田尻地区	7,059	0.54	0.25	2,509	1.82	0.27
荒浜地区	4,936	-1.79	-0.60	2,000	-0.64	-0.44
その他地区	19,173	-2.16	-0.26	7,087	-0.97	-0.16
西山町地区	5,933	-1.78	0.08	2,131	-0.04	0.18
高柳町地区	1,635	-4.04	0.12	776	-1.89	0.25
柏崎市計	88,389	-0.98	-0.05	34,581	0.36	0.02
刈羽村	4,807	-0.12	-0.02	1,578	0.70	0.06
小国地区（長岡市）	5,806	-2.74	-0.18	2,107	-1.26	0.00
出雲崎町	4,780	-2.10	-0.06	1,767	-0.61	0.05
合計	103,782	-1.09	-0.06	40,033	0.24	0.02

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では全ての地区で減少しており、柏崎市で880人・0.98%、刈羽村で6人・0.12%、小国地区(長岡市)で、164人・2.74%、出雲崎町で103人・2.10%と減少したことから、全体では1,153人・1.09%の減少となる。前月比も同様に全ての地区で減少しており、柏崎市で50人・0.05%、刈羽村で1人・0.02%、小国地区で11人・0.18%、出雲崎町で3人・0.06%減少したことから、全体では65人・0.06%の減少となる。

世帯数は、前年同月比で、柏崎市で126世帯・0.36%、刈羽村で11軒・0.70%増加しているが、小国地区で27世帯・1.26%、出雲崎町で11世帯・0.61%が減少したことから、全体では99世帯・0.24%の増加に留まった。また、前月比では、柏崎市で7世帯・0.02%、刈羽村で1世帯・0.06%、出雲崎町で1世帯・0.05%増加したことにより、全体では9世帯・0.02%の増加となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎管内	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎管内	新潟県	柏崎管内	新潟県
月間有効求人	1,812		24.45		0.55	
月間有効求職者	1,619		-11.04		-1.75	
月間有効求人倍率	1.12	1.15	0.32*	0.15*	0.03*	0.01*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,812人と前年同月比で356人・24.45%増加している。また、前月比においては10人・0.55%増加している。

月間有効求職者数は、1,619人と前年同月比で201人・11.04%減少しており、前月比でも29人・1.75%減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.12倍と前年同月比で0.32ポイント上回っており、前月比でも0.03ポイント上回った。なお、県平均1.15倍と比べると0.03ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が696人と前年同月比で152人・27.9ポイント増加、月間新規求職者数が426人と前年同月比で69人・13.9ポイント減少した結果、月間新規求人倍率は1.63倍となり、前年同月の1.10倍に比べて0.53ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成25年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	29	-4	11	168	-64
共 同 住 宅	2	2	0	9	0
事 務 所	1	0	-2	7	2
作 業 所・工 場	0	0	0	3	-1
営 業 建 物	1	-3	-3	14	-1
公 共 建 物	0	0	0	1	-1
そ の 他	10	-4	6	54	-14
合 計	43	-9	12	256	-79

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が43件と前年同月比では9件の減少となる。前年同月比で工種別内訳の増減は、共同住宅で2件増加しているが、一般住宅(併用)で4件、営業建物で3件、その他で4件減少している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が36件となっており、また一般住宅(併用)29件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況では、市内施工業者が10件(うち新築7件)、市外施工業者が19件(うち新築17件)となっている。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	66,097	0.63	0.06	15,701	-7.83	-13.09
電 力	9,568	-2.44	-2.13	40,736	-0.01	-0.60

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で419口・0.63%の増加。前月比で42口・0.06%増加した。一方、電力においては、前年同月比で240口・2.44%の減少。前月比で209口・2.13%の減少となっている。

使用量においては、電灯が前年同月比で1,335kwh・7.83%の減少。前月比で、2,365kwh・13.09%の減少となっている。電力においては、前年同月比で8kwh・0.01%の減少。前月比においても、247kwh・0.60%の減少となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	589,428	-5.29	-8.34	727,034	-3.73	-2.53
営 業 用	188,547	-3.28	-23.65	128,236	-2.20	-6.16
工 業 用	811,200	0.67	14.26	113,847	-1.34	8.19
官 公 学 校 用	242,792	-12.47	-34.73	76,898	-9.97	-17.31
そ の 他				85	30.76	0.00
合 計	1,831,967	-3.60	-7.10	1,046,100	-3.78	-3.21

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計で前年同月比68,545m³・3.60%の減少、前月比で140,054m³・7.10%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比・前月比共に工業用のみ増加し、他は減少している。

一方、水道給水量は、前年同月比41,189m³・3.78%の減少、前月比で34,748m³・3.21%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比で全ての用途で減少。前月比で、工業用のみ増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	82,739	-8.91	-10.81	85,391	-9.43	-10.63
西 山	39,973	-5.47	-20.44	36,475	-7.39	-25.40
米 山	20,712	-10.51	-30.34	19,664	-9.07	-29.40
合 計	143,424	-8.22	-16.97	141,530	-8.86	-17.85

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の高速道路出入口での交通量は、入口が全体で前年同月比12,852台・8.22%の減少、前月比においては29,325台・16.97%の減少となっている。

出口においても同様に、全体で前年同月比13,774台・8.86%の減少、前月比においては30,772台・17.85%の減少となっている。

インター別の前年同月比および前月比を見ると、全てのインターで入口・出口共に前年同月比・前月比で減少している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	369,114	1.65	-1.45	144,268	-0.14	0.61
平 残	371,183	2.03	-1.18	142,948	-1.58	0.13

預金は、末残が前年同月比6,004百万円・1.65%増加となっているものの、前月比においては、5,455百万円・1.45%の減少となっている。平残では、前年同月比7,386百万円・2.03%の増加となっているが、前月比4,461百万円・1.18%の減少となっている。

一方、貸出金は、末残が前年同月比207百万円・0.14%と減少したものの、前月比875百万円・0.61%の増加となっている。平残においては、前年同月比2,297百万円・1.58%と減少したものの、前月比190百万円・0.13%の増加となっている。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	26,568	-4.46	37.33
交 換 金 額	21,162	-10.13	67.70
不 渡 り 手 形 枚 数	1	-66.66	-75.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	-86.21	-98.41

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で1,241枚・4.46%と減少したものの、前月比7,223枚・37.33%と増加している。また、交換金額においても前年同月比2,387百万円・10.13%と減少したものの、前月比8,543百万円・67.70%と増加している。なお、不渡手形は1枚・0.1百万円発生している。

法的整理(負債1,000万円以上)による県内企業倒産は、7件(前年同月4件・前月5件)、負債総額11.4億円(同7億円・同17億円)となっている。地区別では下越地区で2件(新潟市2件)、中越地区で3件(三条市2件・見附市1件)、上越地区で2件(上越市・糸魚川市各1件)発生している。

業種別は、卸売業3件、建設業・製造業・小売業・その他各1件となっている。また、倒産原因の状況については、販売不振4件、その他3件となっている。

県内経済は、緩やかな持ち直しが続くものの、依然として個人・企業等で弱い動きが続いている。設備投資は下げ止まり、県内景気動向指数は4か月ぶりの上昇となったものの、雇用改善に鈍化の兆しが見られ、今後も県経済への影響に留意する必要がある。